

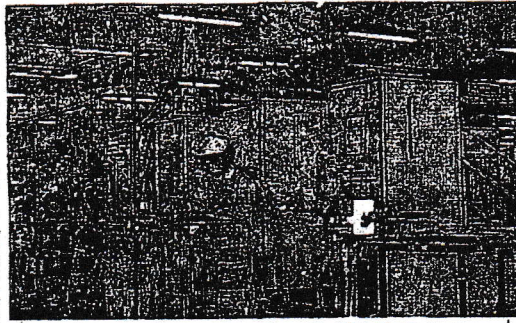
426.1.22 日経

【第三種郵便物認可】

「グローバル環境先進企業」を目標に掲げ、省エネ機器やシステムの販売に力を入れる三菱電機。高効率給湯機「エコキュート」を製造する群馬製作所（群馬県太田市）は工場の電力削減のモデルケースとして注目を集める。自社製品を武器に無駄を可視化する取り組みは、省エネ意識の高まりを商機と捉える同社の企業戦略を体現している。

# MADE IN 北関東

## 三菱電機 群馬製作所



ラインごとにエネルギーを「見える化」、電力消費とCO<sub>2</sub>排出を大幅に削減した

# 省エネ自社製品が威力

「電力見える化」の大きな効果

群馬製作所は高度経済成長期のまっただ中、1959年に家庭用電化製品の生産拠点として発足。50年以上の歴史があり、建屋や設備も決して新しいとはいえない。だからこそ生産性改善の余地は残っている」と内田

敏彦所長は断言する。群馬製作所は2013年度に二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の年間総排出量を90年度比で43%削減する見込

### 〈工場概要〉

- ▽操業開始 1959年
- ▽所在地 群馬県太田市岩松町 800
- ▽敷地面積 14万6100平方メートル
- ▽従業員 約700人
- ▽生産品目 ヒートポンプ式電気給湯機、電気温水器

きめ細かく監視 太陽光発電パネルや高

効率エアコンなどの設備とともに、効率化を支える柱の一つが電力の「見える化」だ。群馬製作所では建屋単位と個々の設備単位で電力消費量を細かく監視するシステムを相次いで導入。社員が消費電力量を意識して生産

## 工場「見える化」他社も注目

改善活動に取り組める環境を構築した。効果はてきめんだ。昨年4〜12月は消費増税に伴う駆け込み需要などで、生産台数が前年同期比9%増えているにもかかわらず、CO<sub>2</sub>排出量を9%削減した。削減分の半分以上は、細かな生産改善活動の積み重ねだ。

例えば出荷検査のライン。システムを使い細かく分析すると、空調運転をしていない時間帯でも電力を消費していることが発覚。給水終了後も給水ポンプが稼働していることを突き止めた。鏡板を加工するラインでは、ワックスを暖めるヒータの稼働時間を見直すなどして無駄を省いた。

工場向けに商機 エコキュートも現在は家庭用が主力だが、最近では集合住宅や福祉施設など業務用製品の取り扱いを拡充。群馬製作所では食堂の湯の熱源をエコキュートに切り替えて光熱費を削減した。こうした事例は営業でPRされるため、省エネ化に取り組む企業からの視察が絶えない。福島第一原子力発電所の事故を機に、エネルギー消費に対する意識はかつてないほど高まっている。老朽化した工場の省エネ化という課題は多くの企業が抱えており、三菱電機にとって商機は拡大している。省エネ性能にすぐれた製品を世に送り出すだけでなく、生産時のエネルギー消費量を抑えるという難問に挑む群馬製作所の役割は今後も大きくなりそうだ。

# 北関東

支局 水戸 029-221-3283  
つくば 029-852-10345  
宇都宮 028-852-11745  
前橋 027-223-3115